



平成 20 年 1 月 23 日

各 位

東京都品川区東品川四丁目 12 番 8 号
株式会社 S J ホールディングス
代表取締役社長 李 堅
(JASDAQ: 2315)
問合せ先：
取締役経営・管理本部長 木村 裕
Tel 03-5781-7311 (代表)

北京宝利信通科技有限公司の出資持分譲受（子会社化）に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 1 月 23 日開催の取締役会において、中国における持株会社である Leadproud Holdings Limited を通じて北京宝利信通科技有限公司（以下「北京宝利」という）へ出資をおこない、同社を子会社化することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の基本ビジネス戦略

当社のビジネスは「日本国内における安定的なソフトウェアサービス事業」「中国の開発拠点をベースとする日本向けのソフトウェア開発並びに BPO 等のサービス事業（オフショアビジネス）」そして「成長性に富む中国国内向けビジネス」の 3 つの部分から構成されております。

当社の基本ビジネス戦略のポイントは、以下の 3 点であります。

- ・日本市場において、継続的な成長を実現しつつ、同業他社との連携を強化し、情報サービス業界で存在感のある企業を目指します。
- ・今日までのノウハウの蓄積を活用し、今後数年で数倍の成長余地があるといわれるオフショアビジネス分野において、自社並びに資本提携を通じて資源を集約し、迅速に規模の拡大を図り、トップランナーを目指します。
- ・高い経済成長を継続している中国市場の、電力、通信、金融、石油、環境、公共等の巨大分野において既存の SI ビジネスを伸ばすとともに、当社グループの 2 桁成長実現のための力強い成長エンジンの一つとして、有望企業を積極的にグループ化し、既存グループ企業との相互補完により、積極的に新規分野を開拓します。また、中国への人民元建て投資を慎重かつ着実に増やすことによって、当社グループの将来の資産価値の飛躍的な向上を図ります。

当社は、上記基本ビジネス戦略の実現により、成長性に富みかつ安定感のあるグループ形成を目指してまいります。

2. 出資（子会社化）の理由

上記の基本ビジネス戦略に基づく施策の一環として、この度、子会社化いたします北京宝利は、電力会社、石油会社、金融機関向けに、外部記憶装置をコアとするシステムソリューション、電力設備管理システム等を提供している SI 事業会社であります。

EMC、VERITAS、NETAPP、QUANTUM 等の有力な外部記憶装置ソリューション・ベンダーとのパートナー関係を構築しており、官公庁等の公共機能が集中する北京を中心として、多地域にわたる有力な販売ルートを利用し、高質なサービスと製品を提供しています。

また、研究開発にも力を入れており、電力設備温度のオンライン・コントロール、地理情報プラッ

トフォーム（GIS(Geographic Information System)での地図エンジン）等の知的所有権を持つ自社製品を開発・製造・販売しております。

そして、北京宝利は、当社グループの中国における主要S I事業会社である安徽科大恒星電子商務技術有限公司（略称：EBT）との間に大きな相互補完関係があり、これまで多数のプロジェクトにおける協業実績があります。このように、北京宝利が有する成長業界・多地域におよぶトップセールス力と、「コンピューター情報システムインテグレーション資格1級」（中国において国家レベルのシステム開発プロジェクトを単独で受注できる重要な資格）を有するEBTを中心とした当社グループ各社の開発力とのシナジー効果によって、従来以上の大規模なビジネスを手がけられることが期待され、当社グループの中国における成長のより一層の加速が可能になるものと判断し、子会社化を決議したものであります。

3. 異動する子会社（北京宝利）の概要

- (1) 商号 北京宝利信通科技有限公司
(2) 代表者 劉少甫
(3) 所在地 中国北京市海淀区中関村南大街2号数碼大厦A座706室
(4) 設立年月日 平成14年5月17日
(5) 主な事業の内容 外部記憶装置事業、電力応用製品事業、LBS事業
(6) 事業年度の末日 12月31日
(7) 従業員数 95名（平成19年12月31日）
(8) 主な事業所 —
(9) 資本金の額 10百万人民币（約1.55億円）（注）換算レート1人民币=15.5円
(10) 発行済株式総数 —（株式会社の形態ではないため、該当事項はありません）
(11) 出資構成（当社出資後） Leadproud Holdings Limited（当社子会社） 51.0%
北京宝利 代表者及び役職員 49.0%
- (12) 最近事業年度における業績の動向

	平成18年12月期	平成19年12月期
売上高	1,620百万円	1,754百万円
売上総利益	550百万円	327百万円
営業利益	160百万円	184百万円
経常利益	164百万円	216百万円
当期利益	161百万円	183百万円
総資産	661百万円	—百万円
純資産	298百万円	—百万円
資本金の額	155百万円	155百万円

注1 為替換算レートは、1人民币=15.5円で換算しております。

2 平成19年12月期における総資産及び純資産の数値は現在精査中であり、確定しておりません。

3 平成18年12月期及び平成19年12月期の数値については、監査を受けておりません。

4. 出資持分の取得先

氏名	劉少甫／吳克／南学敏／王妍／黄青
北京宝利との関係	代表者及び役職員
譲渡する出資持分	51.0%

5. 譲渡価額および取得前後の出資持分の状況

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| (1) 異動前の出資持分比率 | 0.0% |
| (2) 譲渡出資持分譲渡価額 | 29.4 百万人民元 (約 455.7 百万円 1 人民元=15.5 円) |
| (3) 異動後の出資持分比率 | 51.0% |

6. 日程

平成 20 年 1 月 23 日 取締役会決議、譲渡契約および出資持分取得

7. 今後の見通し

○連結子会社化後の連結業績見通し

平成 20 年 3 月期通期連結業績への影響は現在精査中であり、確定次第お知らせいたします。

以上